

クローバー

拡大版

令和6年4月号

編集・発行
社会福祉法人東京援護協会
板橋区立三園福祉園
板橋区三園 2-9-16
電話：03-5383-9587

三園福祉園の広報誌「クローバー」は、登園を利用されている方々・ご家族をつなぐ情報誌として毎月発行しています。この「拡大版」は、地域の方々にも当園の活動を知っていただき、地域に根差した施設になればという思いを込め、年3回発行するものです。

猪俣新施設長挨拶

入学式の桜は久しぶりでした。三園は新しく入園される方はいらっしゃいませんでしたが、職員では私を含めて4名が新たにお世話になります。

私は施設長として、前野福祉園、前野高齢者在宅サービスセンターから異動してまいりました。生活介護は小豆沢福祉園以来ですので、久しぶりで緊張しています。

それでも、さっそくゆったりグループの利用者の方から、「ビンゴをやろう」とお誘いを受けました。ありがとうございました。

令和6年度は、運営の基本理念であります「豊かで輝きのある人生」を送ることができますよう、誠心誠意を持ちまして取り組む所存です。

そして、重点目標としましていくつかある中で、特に「信頼される施設づくり」と「利用者サービス向上」を第1、第2に掲げました。

利用者のご要望にお応えすべく、職員とともに全力で臨んでまいります。なにとぞよろしくお願いいたします。

三園前施設長挨拶

三園福祉園では次長として5年、施設長として5年勤務させていただきました。

当法人に入職して以来、路上生活者の自立支援事業に携わり、いずれは他の分野で働きたいという思いがありました。

10年前、念願かなって三園福祉園へ異動となりましたが、障がい者施設での勤務経験が全くなかった私は、右も左も

わからない状態で着任しました。そのためご迷惑をおかけしたこともたくさんあったのではないかと思います。私に

とって三園福祉園での10年間はとても楽しい思い出がいっぱいです。もちろん大変な時期もありましたが、利用者様の

笑顔と、ご家族のあたたかいお気持ちに支えられ、大過なく運営を行うことができました。利用者様やご家族との辛いお別れ

もありましたが、私にとってとても良き出会いに恵まれ、楽しく幸せな10年間でした。本当にありがとうございました。

今年度も引き続き三園福祉園をよろしく願いいたします。

吉岡次長挨拶

今か今かと開花を待っていた桜が一気にさき誇り、まさに春爛漫です。

令和5年度は数年続いた新型コロナウイルス感染症の制限緩和に伴い、コロナ禍の行事や活動を少しずつ再開することができました。

令和6年度は、さらに楽しい活動をたくさんできる予感にワクワクしています。

令和6年度の三園福祉園は、これまで以上に利用者様を全職員が共通理解のもと、協力して支援するという事に注力していきたいと思っております。登園された利用者様が多くの職員と関わり、「今日も三園福祉園に通えて良かった」と感じていただけるサービスの提供に努めてまいります。

さて、今年の6月には東京ディズニーシーに新しいエリアがオープンするそうです。

ウォルト・ディズニーは『夢をかなえる秘訣は、4つの「C」に集約される。それは「Curiosity - 好奇心」「Confidence - 自信」

「Courage - 勇気」そして「Constancy - 継続」である。』と明言を残しています。三園福祉園のマークは四葉のクローバー。この葉に

4つの「C」を当てはめて、微力ながらも皆様の夢をかなえるお手伝いができますようにと願っております。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

事業計画 (令和6年度)

1. 運営の基本理念

法人理念のもと、三園福祉園の運営の基本理念・基本方針を定め、全職員が高い志を持ち、利用者・ご家族・地域・関係機関の期待に十分にこたえてまいります。

利用者一人ひとりが等しくその人間の尊厳が確保され、社会生活において多様な福祉サービスを利用しながら、社会の一員として地域で『豊かで輝きのある人生』を送ることができるよう、誠意と熱意をもって運営に取り組みます。

2. 運営の基本方針

- (1) 利用者、ご家族、地域や福祉的支援を必要とする人々が、今「何を求めているのか」、「何をすべきか」を明確にし、その実現に向けて積極的に取り組みます。
- (2) 「存在有意感」(どのような人でも、そこにいるだけで意味がある)を職員全員が念頭におき、利用者一人ひとりの人格を尊重し、個人の尊厳に配慮した接遇を行います。
- (3) 障がい者支援施設が果たすべき役割と社会福祉法人が担う使命を自覚し、SDGs (持続可能な開発目標)を常に意識した事業展開を行って福祉環境の向上に努めます。
- (4) 職員が危機管理の意識を高め、利用者に安全・安心な活動環境を提供するとともに、経営的視点に立ち事業を運営します。

3. 令和6年度の重点目標

- (1) 信頼される施設づくり (利用者の権利擁護、人権意識の向上と虐待防止)
- (2) 利用者サービスの向上 (コロナ禍で培った提供可能なサービスを始めとし、コロナ禍で中止せざるを得なかった活動を再開し、更なるプログラムの充実、意思決定支援)
- (3) 人材育成と健康増進 (日常業務での報告・連絡・相談のコミュニケーションの徹底、風通しがよい職場環境の創出)
- (4) 社会貢献事業および地域福祉への取り組み (コロナ禍で滞っていた地域との積極的な交流を再開、地域で生活する人々が互いに支え合い、安心して暮らせるための「福祉の拠点」としての役割)
- (5) 安定した施設運営 (各種加算取得による収入の確保や利用率の向上)
- (6) 危機管理の強化 (新型コロナウイルス感染症を始めとし、様々な感染症に対しての感染予防と感染拡大防止対策、危機管理意識の向上)
- (7) 清掃訓練事業 (板橋区の障がい者福祉政策への貢献)

令和5年度アルミ缶売り上げ報告

いつもアルミ缶の回収にご協力をいただき、ありがとうございます。



・令和5年度アルミ缶リサイクル売り上げ

合計 168kg 年間売り上げ 11,760 円

ありがとうございました。



今年度も、アルミ缶の回収にご協力をお願いします。送迎バス乗車時、または園までお持ちください。日程は月間プログラムにてお知らせします。